

母子こども神楽

本校では、地域の母子神楽を子どもたちに伝えてほしいという願いから、1991年度より、伝統芸能の学習として位置付け、取り組んできました。

神楽教室

毎月1回、地域の神楽指導者の方に来校していただき、神楽教室を行っています。子どもたちは、先生方や上級生をお手本にしながら「篠笛」や「舞」を覚えていきます。

6年生は獅子をかぶって踊る「舞」、3、4、5年生は「篠笛」「太鼓・鈴」による伴奏、1年生は舞を補助する「お持ち」、というように、学年ごとに役割を決めて取り組んでいます。



秋祭り(大歳神社にて)

毎年10月に行われる秋祭りにて、今年度初めて神楽を披露します。地域の方々をはじめ、たくさんの人に見てもらえることで、子どもたちの自信につながります。



母子芸術の集い

11月に行われる母子芸術の集いでも、これまでの練習の成果を発揮して発表します。



特に6年生は、これが最後の発表になります。たくさんのお客さんを前に、堂々と自信を持ってひとつ一つの動きを表現し、迫力ある獅子の舞を披露します。